

Japan
Handball
Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会

男子
 女子

試合番号 **コミセン-男18**

年月日 2022 年 7 月 31 日 (日)
 大会名 令和4年度全国高等学校総体大会ハンドボール競技大会 高松国体記念杯 第7回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

公 式 記 録 用 紙

A		県屋代高等学校										静岡市立清水桜が丘高等学校				B			
都道府県		市町村		会場										回戦					
愛媛県		松山市		松山市総合コミュニティセンター メインアリーナ										2回戦					
前半		A	B	最終結果		A	B	第1延長		A	B	第2延長		A	B	7m追加シフト		A	B
7m得点/総数		A		チームタイムアウト						チームタイムアウト			B		7m得点/総数				
		0/1		1	2	3				1	2 後	3	0/0						
										2442 1425									

No.	県屋代	G	W	2'	D	DR	No.	清水桜が丘	G	W	2'	D	DR
1	上原 翔馬						1	山田 一翔					
2 c	美齊津 七萌	1					2 c	花村 亮太					
3	佐藤 法晟	6					3	吉川 将太郎					
4	青木 遼河						4	村上 一平	4				
5	松澤 恭介	8					5	佐藤 成真	3				
6	永井 一羽	4					6	石野 幹紘	2				
7	酒井 琢碧	5					7	吉川 隼	2		1		
8	南澤 哲輝						8	金田 大和	1		1		
9	中澤 琉	2					9	戸田 遼太	2				
10	市川 暁大	1					10	戸川 将太					
11	篠原 煌	2					11	青木 陽洋					
12	鈴木 晴太郎						12	深澤 慶悟					
13	滝 和也						13	服部 煌令	1				
14	寺島 悠稀						16	小坂 純太					
監督A	若林 久人						監督A	片山 聡					
役員B	金井 和義						役員B	池上 昌克					
役員C	永土 諒						役員C	大石 将夫					

A	若林 久人	チーム役員A署名	片山 聡	B
---	-------	----------	------	---

特記事項

レフェリー	阿部 鉄矢	佐藤 紳之介	阿部 鉄矢	佐藤 紳之介
TD	足田 雅己	近藤 啓司	足田 雅己	近藤 啓司
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第73回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

競技日	2022年7月31日(日)		会場	松山市総合コミュニティセンターメインアリーナ	
種別	男子		回戦	2回戦	
チーム名			チーム名		
県屋代高等学校(長野)			静岡市立清水桜が丘高等学校(静岡)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
29	13	前半	7	15	
	16	後半	8		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

元気よく声を掛け合いながらプレイする静岡代表の清水桜が丘と、①GK上原のナイスセーブからの速攻を繰り出す長野代表の県屋代との対戦。開始早々⑤佐藤がLWからのシュートを決め、清水桜が丘が先行。対する県屋代は開始5分までは動きが固かったものの、⑥永井のパスカットからの速攻を皮切りに、②CB美齋津がうまくパスをさばき⑨中澤、③佐藤、⑦酒井らがテンポよく得点を重ねた。一方、清水桜が丘はGKの⑩小坂、①山田がナイスセーブを見せ、④村上、⑥石野、⑨戸田らが得点するも主導権を握るには至らず、13対7で折り返した。

後半も屋代は持ち味の堅守速攻を存分に発揮し、①GK上原のセーブから⑤松澤への速攻を次々と決め、セットプレイでは視野の広い②CB美齋津から⑦PV酒井へのパスプレイや⑩市川、⑪篠原のシュートも決まった。点差を縮めたい清水桜が丘は果敢に攻め込むものの、シュートが枠をとらえきれない。⑦吉川、⑬服部らがシュートを決めるが、29対15で県屋代が勝利した。敗れた清水桜が丘は、目標としていた「初戦突破」はかなわなかったが、高校生らしい爽やかな印象を残した。